



SNSで旬な情報を
投稿しています



YouTube



Instagram



LINE



JAしまねびより

2026

4

April
Vol.121



みーつけたしまねの
ファーマーズ

Shimane farmers

岩元 進さん

いわみ中央地区本部



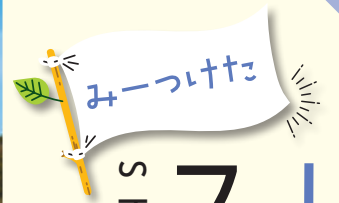
特集 金融犯罪に注意！！

～巧妙化する手口にご用心～



JALしまね 隠岐地区本部版





しまねの ファーマーズ

Shimane Farmers



約1ヘクタールでタマネギを栽培する

上府農事組合法人 岩元 進さん

今月はいわみ中央地区本部。浜田市の上府農事組合法人でタマネギなどの水田園芸を担当する岩元さんにお話を伺いました。



水田園芸の一環として タマネギ栽培に挑戦

指定野菜であるタマネギは、島根では出雲市の斐川など平野部での栽培が盛んです。浜田市の上府農事組合法人は大規模産地ではありませんが、反収で県下3位を誇ります。

上府地区では、高齢化が進む中、圃場整備をきつかけに令和3年に農事組合法人が設立されました。大型機械を使った効率の良い米づくりが



5月頃に収穫期を迎える（写真は昨年のも）

始まりましたが、年間の収支が赤字になることが問題に。そこで県の普及員とJAのサポートで水田園芸をスタートしました。担当することになったのは、同法人野菜部の岩元進さん。初年度は試験的にアスパラガスのハウスを建てましたが、完成してすぐに大風で倒壊。やむなく露地で始めるも、病気が発生し全滅してしまいました。組合法人のメンバ―が落胆ムードに包まれる中、気持ちを切り替えて着手したのがタマネギです。



タマネギの生育を確認する岩元さん

試行錯誤し収量アップ

専門の普及員が肥料選びや畝作りなどを徹底サポート。「長年米づくりをしておりタマネギは初めて。右も左もわからない中で実践しながら学んでいたので、とても助かりました」と岩元さん。最初の年は畝の高さ調整など定植時に手直しが多く、また肥料のバランス調整がうまくいかず、「雨が多かつたこともあり思うような収量になりませんでした。

そこで品種を晩生の「もみじ3号」から早生の「七宝早生」・中生の「ターザン」に変更。上府地区の環境に合ったこと、そして岩元さんたちの努力によって順調に育ちました。また2年目からJAが新しい乗用型の移植機を導入したことで作業がスムーズに。手押しタイプの機器を使っていた1年目より効率がグンと上がり、今では1ヘクタールの植え付けが1日で終わるようになりました。3年目からは整地や畝作り

もほとんど手直しなしで終えられ、現在の収量は1年目の倍近い約5トンにまで増えています。



上府農事組合法人代表の中田善喜さん

丁寧な世話で大きく

しっかりとした玉に育てる

上府農事組合法人は、中山間地では珍しい水稲・タマネギ・キャベツの2年3作に取り組んでいます。タマネギとキャベツは連作をしないことで病気のリスクを低減。秋の稲刈りが終わった11月にトラクターで圃場を整地し、乾いた土を好むタマネギのために畝を高く作って定植します。冬場は消毒や追肥でケア。水稲のために圃場整備した土地で近くの川から水を引けるようになっていたため、必要があれば簡単に灌水できるようになっています。

反収の高さとタマネギの質の良さを支えるのは、岩元さんの丁寧な仕事。毎日苗の状態を見て回ります。水稲用の暗渠排水に組み合わせているのは、畑の外周を四角い水路で取り囲む額縁明渠。土が乾燥しすぎていけば水路から水を引き込み、水揚げが悪くぬかるみそうなときは鍬を手にして臨時の排水路を作りま



法人の取り組みを話す岩元さん

れます。私だけではなく、みなさんと一緒に作っているんですよ。本当にありがたい」と感謝を口にしました。

収穫されたタマネギの多くは、選別されてから斐川町にあるJAの調整施設に送られます。選別なしでそのまま買い取ってもらえるルートも開拓しようと、加工業者への出荷も進めています。現在は邑智郡の加工業者へも出荷。「選別していい収穫したままのタマネギをコンテナごと買い取ってくれますし、取りに来てもらえるので手間も輸送料もカットできます。非常に効率がいいですね」と岩元さん。今後も一定量の生産を続けながら、加工用のニーズにも応えていきたいそうです。

プチっと情報

岩元さんが家庭で味わってほしいのはタマネギの甘み。シンプルにいただくなら、王道のカレーがオススメだそうです。あめ色になるまで炒めてから煮込むと、市販のカレールーで作っても甘みのある奥深い味になります。



フィッシング詐欺

フィッシング詐欺とは、JAなどを装ったメール・SNSで偽のサイトへ誘導し、重要な情報を送付させて悪用する犯罪です。



金融犯罪に注意!!

巧妙化する手口にご用心

近年、私たちの身近なところで金融犯罪が急増しています。中でも、フィッシング詐欺や振り込め詐欺などの「特殊詐欺」は年々手口が巧妙化し、被害者の年齢や職業を問わず多くの人々が被害に遭っています。本特集では、特殊詐欺の手口や被害事例を紹介しますので、大切な財産を守るため、ぜひ一読ください。

フィッシング詐欺に遭わないためのポイント

JAバンクでは、メールでお客様の個人情報や重要な情報をお聞きすることは絶対にありません。

JAネットバンクを利用する際は、JAネットバンク公式サイトやJAバンクアプリプラスからアクセスしてください。また、公式サイトを事前に「お気に入り」や「ブックマーク」に登録してアクセスいただくと、より安全です。

ID、パスワードをメールで伺うことはありません。絶対に返信しないでください。



振り込め詐欺

振り込め詐欺とは、「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「融資保証金詐欺」「還付金詐欺」などの総称です。

電話、郵便、メール等により不安をあおり、現金を指定した貯金口座に「振り込め」と指示する詐欺です。

詐欺に遭わないためのポイント

電話、郵便、メール等により現金を貯金口座に「振り込め」という請求に対しては、すぐに振り込まず、ご家族などに連絡を取り、本当に支払う必要のある請求か、事前に必ずご確認ください。

少しでも「なにかおかしい？」と思ったら最寄りの警察、JA支店にご相談ください。

警察官やJA職員等を装った詐欺



「貯金口座が不正に利用されている」「キャッシュカードが偽造されている」など、お客様の不安をあおり、代わりに貯金を取り戻すなどと持ちかけて、キャッシュカードや口座情報を入手する詐欺です。

詐欺に遭わないためのポイント

JA職員や警察官が、電話や店舗外などでキャッシュカードの暗証番号をお聞きすること、また、キャッシュカード自体をお預かりすることは絶対にありません。少しでも不審に思われたら、警察、お取引のあるJA支店までご相談ください。

JAしまねの特殊詐欺防止対策

JAしまねでは、特殊詐欺被害防止対策として、以下の対応を行っております。ご不便をおかけし申し訳ございませんが、皆さまの大切な貯金を守るための取り組みである点、ご理解いただくとともに、皆さまご自身におかれましても、被害に遭わないための対策をお願いいたします。

ATMによるお引出し・お振込みについて

- 対策1** 70歳以上かつ過去1年間のATM取引（お引出し・お振込み）1回あたりのご利用額が30万円以下のお客様については、1日あたりのご利用限度額を30万円に引き下げさせていただきます。
- 対策2** 令和8年4月1日より、ICキャッシュカードを利用したATM取引（お引出し・お振込み等）の1日あたりのご利用限度額を50万円に引き下げさせていただきます。
- ※1 ご利用限度額の変更をご希望される場合は、キャッシュカード発行の支店窓口にご相談ください。
 - ※2 令和8年4月1日以前に、ご利用限度額の変更をされているお客様については、変更の対象外となります。
 - ※3 磁気キャッシュカードおよび通帳によるATM取引ご利用限度額は、これまでとおり50万円です。

JA個人ネットバンクについて

- 対策1** 振込・振替取引の1日あたりの限度額を100万円とさせていただきます。
- 対策2** 振込・振替およびペイジーの限度額引き上げ変更の反映を7日後としています。
- 対策3** インターネットバンクの利用停止について、JAへご連絡いただかなくても、ご自身による利用停止が可能となっております。
- 対策4** ワンタイムパスワードを取得するために必要な電話番号認証の完了後、7日間（168時間）を経過しないと、振込・振替取引が出来ません。
- 対策5** ①インターネットバンク新規ご契約、②振込・振替取引限度額引き上げについて、JA支店よりご利用意思確認を行っています。
※ご連絡がつかない場合、一部お取引を制限する可能性がありますので、ご了承ください。

マネロン・金融犯罪対策への取組強化について

代表理事組合長 竹下 克美

最近、様々な金融犯罪が発生し、その手法や手口も巧妙かつ高度になってきています。新聞等での報道を見て心配に感じておられる組合員・利用者の方々も多いのではないかと思います。また、国際的に金融機関が取り組まなければならない課題として、マネー・ローンダリング（マネロン）およびテロ資金供与対策の重要性が益々高まっています。マネロン・金融犯罪対策に取り組むことは、信用事業を営む当組合の責務でもあります。

当組合では、金融機関としての信頼性を確保するため、そして、お客様の大切な財産を金融犯罪からお守りするために、マネロン・金融犯罪対策の取り組みを重要な経営課題と位置づけて、一層力を入れて取り組むことといたします。

JAしまねの竹下克美組合長ら本店常勤理事は、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJA運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。

農業の現場から声をつなぐ

～ふれあい訪問記～

今回の訪問先

JAしまね いわみ中央地区本部管内 ●香の宮F&A、上府農事組合法人

香の宮F&Aは江津市でハウレンソウ、小松菜などの葉物野菜をハウス栽培しています。土壌分析結果をもとに有機質肥料を使うなど土づくりに力を入れ、有機JAS認証を取得しています。当日は、大畑安夫代表が経営概要を説明。有機栽培に取り組む地域の生産者と連携して共同販売に取り組んでいること、物流コストの高騰が課題となっていることなどについて意見を交わしました。主な作物の収量が増える時期の販売対策も課題となっており、栽培品目を増やすことにも力を入れています。圃場視察では、外食産業の需要を見込んで栽培を始めたという生食用のケールのハウスを訪問しました。

上府農事組合法人は浜田市で水稲のほか、水田園芸として大豆、キャベツ、タマネギを栽培しています。上府地区で令和元年に圃場整備が始まったことをきっかけに、再び耕作放棄地が増えてはいけないと、令和3年に法人を設立しました。当日は、中田善喜代表、勝田秀幸事務局、野菜担当の岩元進さんが法人の成り立ちを説明した後、人件費や機械の経費、施設の利用料のことなど、黒字経営を続けていくにあたっての課題について意見を交わしました。当JAの日高副組合長は「タマネギ調整の経費などが大きな課題となっていることを切実な声として受け取りたい」と答えました。



生食用のケールについて大畑代表（左）から話を聞く竹下組合長



香の宮F&Aで有機JAS認証について確認する常勤役員ら



水田園芸として栽培するタマネギ



上府農事組合法人の中田代表らと意見交換



topics

1

人口減少に挑む 美郷町で新たな地域モデル構築へ

JAしまね、美郷町、JA全農Aコープ株式会社は2月27日、同町中心部での複合商業施設の整備に向けた包括連携協定を締結しました。同町役場で行われた協定式には、JAしまねの竹下克美組合長、嘉戸隆町長、JA全農Aコープ株式会社の山崎智弘社長が出席し、協定書に署名しました。

JAしまねは施設内に設ける産直市の運営を支援するほか、Aコープおおち店の移転後の空き店舗を活用し、農業資材や生活用品を扱う新店舗の開設も計画しています。同町は、魅力的な飲食店の誘致や天候に左右されずに利用できる屋内遊具施設などを整備し、町内外からの来訪者増加を目指します。複合施設の核となるスーパーはJA全農Aコープ株式会社が運営し、現在のAコープおおち店が移転して入る予定です。

竹下組合長は「人口減少という大きな課題に立ち向かい、様々なテーマにチャレンジしていきます」と決意を語りました。



協定を締結した竹下組合長（右）、嘉戸町長（中央）、山崎社長（左）（島根県美郷町で）

topics

2

令和7年産島根米求評懇談会を開催

JAしまねは3月12日、出雲市のラピタウェディングパレスで令和7年産島根米求評懇談会を開きました。関東から九州地区の主要取引先卸16社や島根県、JAなどから約60人が参加。取引先による令和7年産島根米の評価や令和8年産米の販売に向けた意見交換を行いました。

令和7年産島根米の集荷見込数量は、約30,590トン。作付面積の増加、10アールあたりの収穫量の増加等により、令和6年産と比べ1,600トン程度増加する見込みです。令和8年産は33,500トンを目標に掲げました。

取引先卸からは「島根米は品質・食味が優れ、安定している」など評価される一方、「価格の高騰により販売情勢が厳しい」といった声が多くあがりました。新品種として取り組みが進められている「島系84号」の試食も行い、粒の大きさや香り、甘みなどが高い評価を得ていました。

当JAの竹下克美組合長は「日本のお米は日本人の魂そのもの。生産者と一体となり、信頼される産地づくりに努めたい」と話しました。



主催者を代表しあいさつする竹下組合長

topics

3

お米などを 子育て支援組織などへ贈る

JAしまねは2月から3月にかけて、県内の子ども食堂などの子育て支援組織や社会福祉協議会など83団体へ総額約823万円分のお米や商品券などを贈りました。

お米をはじめとした物価高騰の影響を受ける子育て支援組織などの活動に役立ててもらおうと実施。財源には令和7年12月末で失効したJAしまね「おさいふカード」のポイントを活用しました。

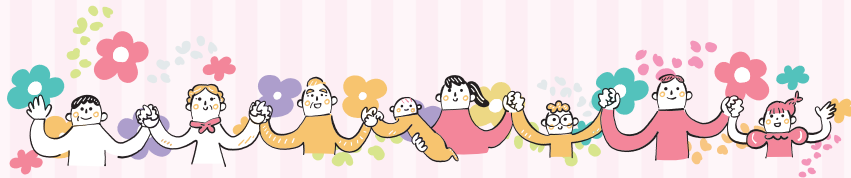
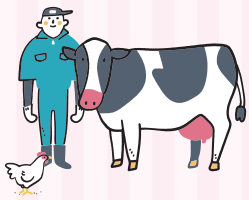
**「おさいふカード」では貯まった
ポイントを募金・寄付できます！**

【寄付先】

- 社会福祉法人 島根県社会福祉協議会
- 公益社団法人 島根県緑化推進委員会
- 公益財団法人 ヘルスサイエンスセンター島根
(がん対策募金)
- 島根県健康福祉部 青少年家庭課
- 特定非営利活動法人
フードバンクしまね
あったか元気便

こちらから寄付ができます→





「元気な地域」を女性部の力で!

隠岐どうぜん女性部

JA女性組織3カ年計画
「『あい♡』からはじまる『元気な地域』
をみんなの力で」の実践初年度です。

☆助けあい☆ ☆学びあい☆ ☆育てあい☆

の3つの重点テーマを掲げ活動します。

JAしまね隠岐どうぜん女性部では、「助け合い」の活動の一環として、地域の若者との交流を目的に出雲市とのコラボ企画リメイクファッションショーを開催しました。世代を超えたつながりを大切に、衣装の準備や演出を協力して行うことで自然と会話が生まれ、お互いの理解が深まりました。当日は笑顔あふれる温かな雰囲気の中で、それぞれの個性を尊重しながら発表することができました。今後も地域で支え合う活動を大切にしていきます。



一所懸命青年連盟

JA YOUTH

島根県農協青年組織協議会

地産地消に取り組み、農業を通じて、
地域に貢献していきたい

島根県農協青年組織協議会は、県内10単組・会員632名（令和7年4月1日現在）で構成され、令和7.8年度は村上淳一会長（隠岐）のもと活動しています。

農業を通じた地域貢献をはじめ、食と農の価値向上に向けた政策提言、JA運営への参画、盟友同士の交流による研鑽、次代の担い手育成など、幅広い活動を展開しています。



その取り組みの一つが、毎年実施している「JAしまね常勤役員との意見交換会」です。各単組の意見や要望を取りまとめ、若い農業者の思いをJA常勤役員に直接伝える貴重な場となっています。意見交換会での具体的な成果として、JAしまねの定期貯金キャンペーンの賞品に盟友が生産した農産物が採用された実例もあります。

双方の意見を出し合い、様々な課題解決に向けて取り組んでいます。今後も対話を重ね、双方にとって実りある活動となるよう取り組んでまいります。

真夏の葉物に最適

エンサイは、別名を「アサガオナ」、または茎の中が空洞なので「クウシンサイ（空心菜）」とも呼ばれています。熱帯アジアに多く栽培されている高温多湿を好む野菜で、夏の栽培に適しています。サツマイモのように地面を覆い、つる先の柔らかい莖葉を摘み取って利用します。味が淡泊なので、肉やエビ、シイタケなどとの炒めものやごまあえに向きます。

【栽培時期】

高温性で発芽適温は25度前後、生育適温は25～30度です。10度以下では発芽・生育しません。主に初夏に種まきし、夏から初秋にかけて収穫します。

【品種】

広葉タイプと細葉タイプがあり、広葉タイプは葉がサツマイモに似てやや大きく、節間がよく伸びます。細葉タイプは竹葉に似て、若取りに適しています。広葉タイプでは、「エンサイ」（タキイ種苗）、「エンツアイ」（サカタのタネ）など、細葉タイプには、「なつサラダ」（フタバ種苗）、「スラらん」（タキイ種苗）などがあります。

【畑の準備】

植え付け（または種まき）2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまいてよく耕します。1週間前に化成肥料（NPK各成分10%）200gと堆肥2kgを土とよく混合します。その後、畝幅70～80cm、高さ5～10cmの栽培床（ベッド）を作ります。

【種まき・植え付け】

種は皮が堅いので一晩水に漬け、吸水させてからまきます。発芽適温は高温のため、早まきはしないようにしましょう。

準備した栽培床に株間30cmとし、深さ1、2cm、1カ所3、4粒じかまします（図1）。苗作りをする場合は、7.5～9cmのポリポットに3、4粒ま

き、本葉3、4枚になったら苗を植え付けます。

若取りを目的にする場合は細葉タイプの品種を使い、約1cm間隔に筋まきにし、本葉3、4枚までに株間4、5cmに間引きします。

【管理】

発芽後は本葉4、5枚で間引き、1本立ちにします。追肥は2週間置きに1平方m当たり化成肥料50g程度を施します（図2）。また、柔らかい葉を収穫するには灌水（かんすい）を十分行います。

【収穫】

つるが40～50cm程度に伸びたら、株元5、6節を残し、つる先の20～30cmを摘み取ります。その後、脇芽が次々に伸びてきますので、同様に収穫します（図3）。

細葉タイプの若取りは、草丈25cm程度するとき、株元2、3節を残し、刈り取ります。数回収穫ができます。なお、秋にヒルガオのような白い花が咲きます。

図1 種まき（じかまき）

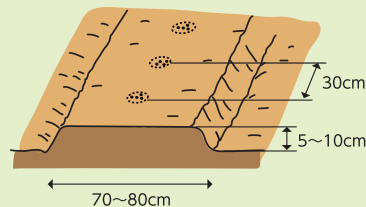
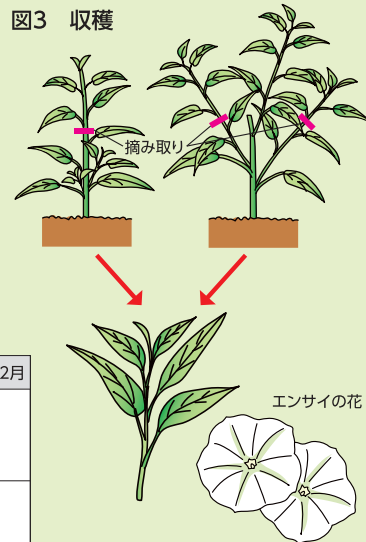


図2 追肥



図3 収穫



栽培カレンダー（エンサイ）

| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 中間地 | | | ● | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | |
| 暖地 | | ● | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | |

● 種まき ■ 生育 ■ 収穫



「ベランダでも育てられる みんなのコンテナ菜園」をJAしまねホームページで連載中です。今月は「スイートコーン」!

理事会情報（3月27日開催）

- ①令和8年度 JAしまね農業振興支援事業要項・要領について
- ②令和8年度 県域品目販売手数料の設定について
- ③令和8年度 補助事業の実施について
- ④農作業受委託規程の設定について
- ⑤令和6年産 飼料用米の最終精算について
- ⑥酒造好適米 安定供給体制の確立について
- ⑦酪農家に対するJAしまね独自支援の継続について
- ⑧余裕金運用にかかる基本方針および令和8年度の年次運用方針について
- ⑨西いわみ地区本部 土地区画整理事業に伴う営農センター等の建設について
- ⑩令和7年度末決算見込（第2次）について
- ⑪令和8年度 事業計画について
- ⑫組合と理事との取引（契約）の承認について（都度承認分）
- ⑬令和8年度「コンプライアンス・プログラム」「個人情報保護並びに情報セキュリティ計画」の設定について
- ⑭令和8年度 固定資産取得・処分計画について
- ⑮出資口数の減少（減口）について
- ⑯行方不明組合員等の脱退手続きに係る組合員資格の確認について
- ⑰総代選挙の実施について
- ⑱管理部門集約を踏まえた今後の本店事務所の方向性について
- ⑲令和8年度 JAしまね「家の光三誌」および「日本農業新聞」普及方針について
- ⑳令和8年度 JAしまね地域貢献活動について
- ㉑令和8年度 新規職員の採用方針について
- ㉒定年延長等に伴う有期雇用・パートタイム職員の就業規則等の改正について
- ㉓役員報酬支給要項の改正について



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ

| | | | | | | |
|---|---|----|----|----|----|----|
| 1 | 7 | 10 | | | 17 | 20 |
| | | E | | | | |
| 2 | | | | 15 | | |
| | | | | | | D |
| 3 | | | 13 | | | |
| | 8 | 11 | | | 18 | |
| | | | | B | | |
| 4 | | 12 | | | 19 | 21 |
| | | | | | | |
| 5 | 9 | | | | 16 | |
| A | | | | | | |
| 6 | | | 14 | | | |
| | | | | | | C |

答え

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|

タテのカギ

- ①女性同士のきょうだい
- ④トシューズをはいて踊ります
- ⑦風呂場でお湯をためるところ
- ⑨太古から人間に飼われている動物
- ⑩表の反対側
- ⑪端午の節句に——餅を食べた
- ⑬日本三大祭りのひとつ、——祭。東京で5月におこなわれます
- ⑮——ベース、アット——
- ⑯釣り人がじっと見るもの
- ⑰川を渡るためにかけます
- ⑱そろそろ行かないと！ タイム——だよ
- ⑳Sが小ならMは
- ㉑5月4日は——の日。国民の祝日です

ヨコのカギ

- ①端午の節句に風呂の湯へ入れます
- ②変わると寝つけない人もいます
- ③岩の多い海岸のこと
- ⑤現在の元号です
- ⑥アルファベットの14番目
- ⑧安、実、宝に共通の部首
- ⑫漢字では羊歯などと書く植物
- ⑬車のこと。——ナビ
- ⑭つくね、ハツ、砂肝といえは
- ⑮キャッチャーともいいます
- ⑯ゴルフクラブの種類のひとつ
- ⑰童謡「ぶんぶんぶん」で飛ぶもの
- ⑱ウサギのものは長め

応募要項

- 応募方法
ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。
- 賞品
正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。
- 当選者発表
賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切
〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町681番地3
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係
2026年5月1日（金）（当日消印有効）

先月号の答え

「ハナフキ」

| | | | | | |
|----|---|---|---|----|---|
| ア | ブ | ラ | ナ | サ | エ |
| サイ | ク | セ | リ | ク | ダ |
| カイ | キ | ヨ | ウ | | |
| キ | ミ | シ | ミ | レ | |
| ハ | ナ | ミ | キ | ブン | |
| ソ | リ | ヤ | リ | ナ | ゲ |

川柳の広場

最優秀賞

平凡な二膳の箸に日々感謝

出雲市 多久和敬子様

選句者 島根県川柳連盟会長 竹治ちかし先生

優秀賞

来てうれし帰ってうれし孫たちよ

浜田市 上埜 敏実様

勝てませぬ自然の力とカミさんによ

出雲市 佐藤 晃一様

一輪の老梅心洗われる

出雲市 佐野美和子様

佳作

なにくそとまだまだ続く我の道
 隠岐の島 上川 晃一様
 各々の想い織りなすターミナル
 安来市 青戸 涉様
 人間にいい味が出る高齢期
 出雲市 北村 功様
 朝迎えカバンに夢を天こ盛
 松江市 後藤 竹子様
 歳ひとつ増えて寿命がひとつ減り
 浜田市 日原 隆様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」5月号定価 900円
 ご購読は、お近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）5月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法
 俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
 ※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
 ※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
 ※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先
 〒690-0887 松江市殿町19-1
 JAしまね ふれあい広報課
 「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
 F A X : 0852-67-7708
 Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

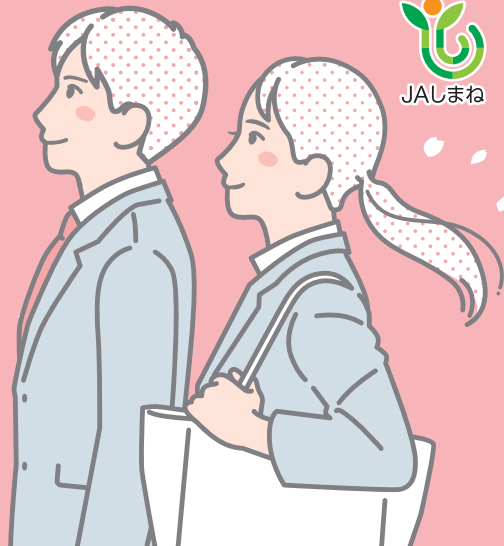
最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。





島根をもっと元気になりたい
一緒にJAで
働きませんか



JAしまねは「農業振興」「地域振興」「地域貢献」を積極的に展開し、大地の恵みと食文化の尊さを次世代に継承していきます。

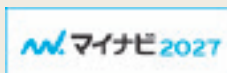
JAしまね 令和9年4月採用職員募集のご案内

- 募集職種 正職員
- 応募資格 ①令和9年3月大学院・大学・短大・高専・専修学校卒業見込の方
②大学院・大学・短大・高専・専修学校を卒業して3年以内の方
- 受付期間 令和8年4月1日(水)～令和8年5月31日(日)
- 選考方法 WEB上での筆記試験・適性検査・面接試験
- 応募方法 マイナビ2027よりエントリーください。

※採用情報など詳しくは
JAしまねHP、マイナビ2027または
下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

〒690-0887 島根県松江市殿町19-1
JAしまね人事部人事課
担 当：塩野・笹山
T E L：0852-67-7711
F A X：0852-67-7714
ホームページ：https://ja-shimane.jp
E-mail：jinji_saiyou@ja-shimane.gr.jp



マイナビで
エントリー
受付中



シロアリ警報！床下無料調査実施中！！

初夏は羽アリが出る季節。
気付かないうちに
住みついていくかも。
早めの防除が
あなたの家を守ります。



取扱業者

JA全農基本契約業者「株児五商会」特約施工店

(公社) 日本しろアリ対策協会正会員
会員番号 島根県 002
会員番号 鳥取県 002

株式会社 **コタマサイエンス**
(本社) 〒690-0048 島根県松江市西嫁島2丁目8-23
<https://www.kodama-s.co.jp>

松江営業所 TEL 0852-26-6757
益田営業所 TEL 0856-22-5390
隠岐営業所 TEL 08512-2-2471

出雲営業所 TEL 0853-31-9600
江津出張所 TEL 0855-52-6852

シロアリの予防・駆除は、確かな実績と安心のJAにご相談ください。

床下の無料調査は、JAしまね取扱業者(株)コタマサイエンスが訪問いたします。



お問い合わせは、最寄のJA各支店へ。

島根うまれの食材レシピしまねうレシピ

レンジで丸ごと!新玉ねぎの豚肉ときのこの酒蒸し

材料 (4人分)
 新玉ねぎ…………… 3個(400g)
 しめじたけ…………… 1袋
 豚小間切れ…………… 200g
 酒……………大さじ3
 (フライパンで調理100cc)
 塩こしょう…………… 3〜4振り
 A [ポン酢……………大さじ2
 オイスターソース…小さじ1
 カツオパック…………… 1袋(3g)
 細ねぎ…………… 2本

作り方
 ①新玉ねぎは上下を切り落として皮をはぎ、上の方から6等分になるよう切り込みを入れ、下1/3はつながったままにしておく。
 ②皿の中央に玉ねぎを3個置き、その周りにしめじたけと豚肉を広げて並べ入れ、酒をかけて、塩こしょうを振る。
 ③軽くラップをして、レンジ(500w)で10分間加熱する。(又はフライパンに同じように入れ、沸騰するまでは強火で、沸騰したら弱火にして、玉ねぎが柔らかくなるまで蓋をして蒸し焼きにする)
 ④肉にしっかりと熱が通っているか確認してから、混ぜ合わせたAを全体にかけ、最後に玉ねぎの上にカツオと小口切りにした細ねぎを飾る。



コメント
 ・レンジで簡単!甘くてとろろの新玉ねぎは酒蒸しならではのうまさです!
 ・3〜5月が旬の新玉ねぎは、生でも辛味がマイルドで食べやすく、加熱すると甘みがグッと引き立ちます。
アレンジ
 ・肉の代わりにツナ缶やベーコンでも美味しくできます。
 ・熱々の玉ねぎの上にバターやとろけるチーズをのせて、パワーアップ!

味噌ラーメン風豚汁

材料 (4人分)
 豚小間切れ…………… 200g
 A [ジャガイモ …… 1個(140g)
 にんじん… 1/2本(60g)
 チンゲン菜… 1株(250g)
 もやし…………… 1/2袋
 B [水…………… 800cc
 生姜(すりおろす)…ひとかけ
 にんにく(すりおろす)…ひとかけ
 中華だし(顆粒)…小さじ1
 味噌……………大さじ2
 しょうゆ……………大さじ1
 ラー油……………お好みで
 唐辛子……………お好みで

作り方
 ①じゃがいも、にんじんは皮をはいで食べやすい大きさに切る。チンゲン菜は軸と葉の部分に分けておく。
 ②鍋にごま油を熱し、食べやすく切った豚肉を炒め、色が変わったら、Aの材料(チンゲン菜は軸だけ)を加えて軽く炒める。
 ③油がまわったら、Bを加えひと煮立ちしたら弱火にし、蓋をして野菜が柔らかくなるまで煮る。
 ④アクが出たらすくい取り、もやしとチンゲン菜の葉先を加え、ひと煮立ちしたら火を止め、しょうゆと味噌を溶き入れる。
 ⑤器に盛り、お好みでラー油か唐辛子を振る。



コメント
 ・まるでラーメン!?ボリュームが欲しい時の汁にぴったりです!
 ・しょうゆと味噌は火を止めてから加え、風味をしっかりと残しましょう。
アレンジ
 ・白菜、キャベツ、えのき、きくらげ、玉ねぎ、ねぎ、にら、大根、トマトなど季節の野菜を組み合わせて!
 ・中華麺やそうめん、うどん、餃子の皮を加えたり、雑炊にしたりしても美味しいです。

本誌は地球環境に優しい植物性インキを使用しております。
 VEGETABLE OIL INK



JALしまね
 公式ホームページ
 JALしまね
 検索

健康散歩 For Your Health 新生活に知っておきたい おたふくかぜ

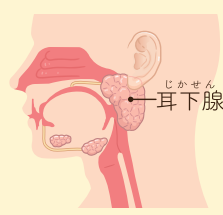
JA島根厚生連

冬の寒さがやわらぎ、暖かい日が増えてきました。新年度が始まり、新しい環境での生活がスタートした方も多いのではないのでしょうか。慣れない環境では、知らず知らずのうちに体も心も頑張りすぎてしまうことがあります。疲れがたまると免疫力が低下し、感染症にかかりやすくなります。

今回は、感染症の一つである「流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)」についてご紹介します。

おたふくかぜは、ムンプスウイルスによっておこる感染症です。主に3〜4歳の子どもの多いですが、大人が感染することもあります。大人の場合は症状が強く出ることがあり、合併症も起こしやすいといわれています。

おたふくかぜは、耳の下にある「耳下腺」という唾液を出す組織が腫れることが特徴です。主な症状は、耳の下やあごの腫れ・痛み、発熱、食べ物を噛むときの痛み、頭痛、倦怠感、食欲不振です。通常1〜2週間で症状が軽減しますが、髄膜炎、精



巣炎、難聴などを合併することがあるため注意が必要です。

感染は、飛沫感染(咳、くしゃみ、会話)や接触感染(ウイルスがついた手で口や目を触る)で広がります。発症の約2日前から、耳下腺の腫れが治まるまで(通常5〜7日程度)周囲にうつす可能性があります。

おたふくかぜには特効薬がなく、治療は症状を和らげる対症療法が中心です。感染を予防するために、手洗い、うがい、マスクの着用、タオルの共有を避けるなどの基本的な感染対策を行いましょう。また、予防接種も有効で、かかったことがない方は2回の予防接種を受けることがすすめられています。

おたふくかぜは、1年を通してみられますが、春から夏にかけてやや増える傾向があります。新生活で疲れが出やすい時期でもありますので、十分な休養をとり、日頃の感染対策を心がけましょう。無理をせず、元気に新年度をスタートさせたいですね。



【編集後記】新年度が始まり、新しい環境に身を置かれる方も多いと思いますが、皆様いかがお過ごしでしょうか?私もこの3月に広報担当となり、今号より編集に携わることとなりました。島根の農業のことやJAの取り組みなど、皆様に楽しく知っていただけるよう努めてまいりますので、今後とも「しまねびより」をよろしくお願いたします☺(児)

2026年4月15日付発行(月1回発行)
 編集/JALしまね ふれあい広報課・隠岐地区本部
 発行/島根県農業協同組合 隠岐地区本部
 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町681番地3 TEL.08512-2-1131 FAX.08512-2-4320